

流産時の対応マニュアル

～馬鼻肺炎による流産を拡げないために～



日高家畜衛生防疫推進協議会

胆振家畜自衛防疫推進協議会

北海道家畜畜産物衛生指導協会

流産発生に備えて・・・

流産発生に備えて、以下の流産処置用の道具を準備しておきましょう。
また、日頃から流産発生時の担当者を決めておきましょう。



このように
まとめて
保管しましょう

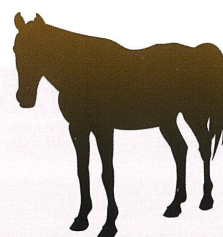
流産が発生した時は・・・

馬鼻肺炎などの伝染性の流産を想定して、ウイルスを
拡げないために次の手順で速やかに実施しましょう。

流産発生時の作業手順

注意点

- ✓ 使い捨て手袋を使用する。
- ✓ 流産馬房から出るときは長靴を消毒する。
- ✓ 流産馬や胎子を扱った後の衣服や手袋で他の馬を触らない。
- ✓ 流産馬が落ち着かない場合は、事故防止のため隔離を優先する。



- 1** 馬房外にビニールシートを敷き、踏込消毒槽や流産処置道具を準備する。



- 2** 流産場所にじょうろ等で消毒薬をかける。



- 3** 流産胎子や胎盤に消毒薬をかける。



- 4** 馬房内で胎子や胎盤をビニール袋等に入れる。



5 密封した袋に消毒薬をかける。



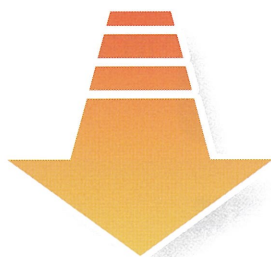
6 馬房外に置いたビニールシート等にのせる。



7 馬房から出る前に長靴を消毒する。



8 シート等で包んだ後に消毒薬をかける。



トラック等に乗せる
または
**キツネやカラスなどの
野生動物の侵入できない場所に保管**

注) 流産馬の処置や馬房の消毒等(次ページの9以降の作業)をする人がいる場合は、この時点で胎子を家畜保健衛生所へ搬入する。

- 9** 消毒薬に浸したタオルで羊水などで汚れた部分を中心に馬体を洗淨・消毒する。



- 10** 流産馬を隔離馬房に移動する。
* 隔離馬房がない場合は、他の馬と接触しないようにする。



- 11** 寝わらなどにもう一度消毒薬をかける。



- 12** 馬房内でフレコンバッグなどに寝わらをつめて、密封する。



- 13** フレコンバッグの外側に消毒薬をかける。



寝わらの入ったフレコンバッグは検査結果が出るまで野生動物の侵入できない場所に保管しましょう。



14 清掃後、馬房の床や壁(馬の鼻が届く高さまで)に消毒薬をかける。



15 胎子や寝わらを運んだ通路、使用した馬房掃除道具、流産馬を移動した通路に消毒薬をかける。



16 着替えて流産胎子を家畜保健衛生所へ搬入する。

流産前の注意事項

○**日頃からの消毒**を心がけましょう。

馬鼻肺炎により流産した馬は**流産発生約2～4週間前**にウイルスを鼻から排泄していますので、毎日の消毒によりウイルスのまん延を防止することが期待できます。特に、妊娠後期では馬房や通路、飼桶等の消毒を毎日実施しましょう。

流産後の消毒に推奨される消毒薬の希釈倍数		
消毒薬	推奨希釈倍数	用法による希釈倍数 (畜舎消毒時)
パコマ	500	500～2,000
クレンテ	1,000	300～3,000
アンテック ビルコンS	500	500～2,000

(H19年日高家保調べ)